

むらたまち 議会だより



村田高校生と村田の未来を語る(ワールドカフェ)

● 令和2年度当初予算	… 2
● 予算審査特別委員会	… 5
● 3月定例会議案審議	… 8
● ズバリ!町政を問う【一般質問 7人】	… 10
● 常任委員会レポート	… 18 他

Vol.119
2020.5.1.

令和2年度
予算

一般会計予算

前年度比 3.7%減

49億6千869万6千円



総額

87億6千610万7千円

令和2年度各種会計予算を可決

3月定例議会に令和2年度各種会計予算案が提案されたことを受け、議長を除く全議員で構成する『予算審査特別委員会』を設置し、3月10日から16日まで村田町一般会計、特別会計、企業会計あわせて8会計の予算審議を行いました。

鈴木宏予算審査特別委員会委員長から、8会計はいずれもこれを可決すべきものと決定した旨の報告を受け、その後採決を行いました。

一般会計及び、その他の特別会計と企業会計は採決の結果、全会一致で可決されました。

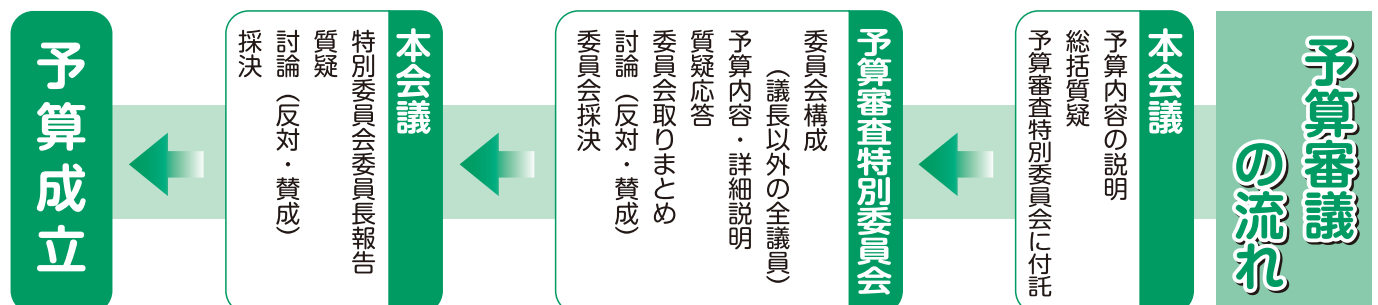
令和2年度会計別当初予算

(単位：千円・%)

会計名		令和2年度	平成31年度	増減額	増減率
一般会計		4,968,696	5,159,143	△ 190,447	△ 3.7
特別会計	国民健康保険事業	1,322,063	1,281,574	40,489	3.2
	後期高齢者医療	120,626	120,631	△ 5	0.0
	介護保険事業	1,138,148	1,148,440	△ 10,292	△ 0.9
	公共下水道事業	※1 —	388,065	△ 388,065	—
	農業集落排水事業	※1 —	34,928	△ 34,928	—
	宅地造成事業	23,000	20,510	2,490	12.1
企業会計	上水道事業	※2 571,147	592,293	△ 21,146	△ 3.6
	下水道事業	※2 614,577	—	614,577	—
	工業用水道事業	※2 7,850	7,895	△ 45	△ 0.6
合計		8,766,107	8,753,479	△ 12,628	0.1

※1 令和2年度から「公共下水道事業特別会計」並びに「農業集落排水事業特別会計」の2つの特別会計を経営の健全性、透明性を図る観点から、地方公営企業法適用の企業会計「下水道事業会計」として、一つの企業会計で事業を行うこととなりました。

※2 企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計を記載しています。



「みんなで育てる自分たちの町 むらた」

令和2年度各種会計予算主要事業（単位：千円）

ひとを育てる 心豊かなまちづくり

パソコン
授業



- 学校教育 小中学校情報化推進事業（21,545）
子どもの心のケアハウス事業（15,100）
社会教育 各公民館照明LED化事業（6,030）
芸術文化 古文書読解事業（500）

健康で共に支え合う 福祉のまちづくり

町民健康
検診



- 保健 各種検診及び健康増進事業（21,350）
福祉 社会福祉協議会運営費補助（12,796）
子育て 子ども医療費助成事業（35,662）
すくすく村田っこ支援事業（1,000）
高齢者支援 老人憩いの家運営事業（6,761）

まちごと元気な 産業づくり

農業用水路の
管理



- 農業 多面的機能支払事業（15,876）
森林育成事業（9,036）
商工業 中小企業振興資金融資事業（25,000）
地域おこし協力隊事業（8,589）
観光振興 民話の里ふるさとおとぎ苑事業（3,300）

安全・安心で快適に暮らせる 生活基盤づくり

修繕予定の
寄門橋



- 都市計画 都市計画街路小池石生線県事業負担金（16,000）
道路交通網 市町村道整備事業【菅生姥ヶ懐線】（140,000）
橋梁長寿命化修繕工事【寄門橋】（23,000）
上水道 配水管布設替等建設工事（102,550）
情報通信 自治体クラウド事業（25,829）

自然豊かなまちづくり

- 環境保全 PCB廃棄物処分事業【高濃度】（12,387）
環境衛生 家庭ごみ等収集委託事業（30,184）
し尿汲み取り事業（9,326）

みんなで創るまちづくり

- 定住促進 定住促進事業（2,000）
定住促進住宅購入事業（9,090）
広報広聴 広報むらた発行経費（3,288）

町の財布の中身は？

自主 財源	町税	1,276,059 千円
	使用料・手数料等	349,983 千円
	繰入金	119,221 千円
依存 財源	地方交付税	1,875,000 千円
	交付金等	341,751 千円
	国県支出金	641,782 千円
	町債	364,900 千円
	歳入の合計	4,968,696 千円

（単位：千円 ※他に予備費1,000千円）

一般会計予算 歳出内訳	議会費 91,064	総務費 744,604	民生費 1,148,115	衛生費 547,713	労働費 17,338	農林水産業費 227,350
	商工費 92,589	土木費 576,726	消防費 217,743	教育費 600,570	災害復旧費 500	公債費 703,384



令和2年度一般会計予算

総括質疑

新年度予算編成の途中で村田町財政非常事態宣言を発布した。本町の一般会計当初予算案の規模は、49億6千869万6千円と前年度対比で1億9千944万円の減、率で3.7パーセント減となった予算に対して総括質疑する。

財政について

問 新年度予算編成で義務的経費と投資的経費等に対する要求規準はどう設定したのか。また、歳入と歳出に対する予算不足の額はいくら生じたのか。

答 基本的に平成30年度決算をベースに、前年度予算額を原則上限とすることを説明した。当初予算要求額で9億6千140万円程の予算不足が生じた。

問 自主財源確保の詳細と行財政改革はどう取り組むのか。

答 ふるさと納税と公有地財産の処分で自主財源を確保する。行革の取り組みは、4月以降に対策室設置を検討している。

問 財政調整基金の現在高と令和2年度末の残高見通しは。

答 財政調整基金の現在高は1億5千38万円、令和2年度末残高見通しは7千500万円となる。

問 税制改正により、法人税割の税率が9.7パーセントから6パーセントに引き下げられ、減収補てんとして新たに法人事業税交付金が財源措置された。今後の見通しをどう捉えているのか。

答 人口の減少、固定資産の評価額が下げ止まらない状況を鑑みると現在の厳しい状況から大きな変化はないと見通している。

問 財政健全化に向けた財政再建計画は、どう進めるのか。

答 財政健全化計画策定は令和3年度予算編成前に明らかにし、企画財政課に計画策定の内部組織を構成する事務局を設置する。

農業生産基盤づくりについて



基盤整備の計画区域（関場地区）

問 関場・沼田地区では、市場整備のための推進協議会を立ち上げ事業採択に向け地権者と担当課による話し合いが継続されている。基盤整備する計画区域と都市計画街路が課題と

して浮上することが懸念され、どのような調整を図り課題解決に取り組んで行くのか。

答 関場地区内の基盤整備事業区域として、都市計画街路沼田足立幹線の計画がなされているエリアがある。県からは都市計画法に基づく路線としての計画区域が設定されている場所については、事業実施として取り組むことが出来ないとの見解が示されている。計画区域が設定されている以上は、そのエリアを除外せざるを得ないものと捉えている。今後、地元の意向と合意形成を図りながら関係各課並びに関係機関と協議を重ね検討していく。

学校教育環境のあり方について

問 総合教育会議で学校教育環境のあり方に関し、今後どのように検討を進め、基本方針をまとめていくのか。

答 総合教育会議で、今後の出生数を見据え保護者の意見を聞きながら再度検討することを確認し、教育委員会では、保護者と地域の意見交換を重ね、住民の理解を得ながら方針を取りまとめていきたい。

豪雨被害対策について

問 台風19号で河川の氾濫による大規模水害が各地で発

生し、多くの住宅や農地が浸水した。雨量の多い菅生地区や浸水被害に悩む沼田地区を中心に、河川の堆積物を撤去し流量を増やす対策を講じることが重要と思う。町管理の河川整備（河道掘削等）はどう進めるのか。

答 浸水被害区域住民の安心安全の確保に向けた治水対策は喫緊の課題と認識している。県管理の荒川の南田排水機場付近及び新川の新川橋、田辺橋付近の堆積土砂の撤去工事は発注済みと示されている。坪沼川の改修計画も令和2年度の工事着手に向け作業を進めている。町の管理河川も山口川、舟久保川、三光川、沼田川、馬場入川、蛙沢川、寄門川、鹿野川など8河川の堆積土砂撤去を進めている。

地方創生総合戦略について

問 国は地方創生第2期の取り組みを始める。新年度は関連する交付金は見込めない中、地方創生の事業や蔵の街を中心に取り組んできた観光振興など課題となっている施策をどのように進め町の活性化をどう図っていくのか。

答 今後、国からの新たな交付金事業は見込めないが、これまで進めてきた地方創生事業を関係機関と連携を図り継続して取り組んでいく。

令和2年度

予算審査特別委員会

令和2年度の各種会計予算審議にあたり、本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に鈴木宏議員を選出し、3月10日から16日までの7日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。委員会採決の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。



審査結果を報告する特別委員会委員長

この質疑応答は、予算審査特別委員会において令和2年度予算を決定することにあたり審議内容を抜粋し、質問の一部を記載します。

歳入

問 新型コロナウイルスの感染拡大で、地方経済に影響を与えているが法人税の見込みは。

答 法人税率が9・7パーセントから6パーセントに変わり、右肩上がり伸びる要素はなく減少を見込んでいます。

問 重要伝統的建造物群保存地区保存事業助成金が計上されていない理由は。

答 伝統的建造物群保存地区内の修理修景事業を、例年約3件、1千万円（一般財源ベース）ぐらいの規模でここ数年すすめてきたが、今年度休止するため助成金もゼロとした。

問 新規事業「子どもの心のケアハウス」の内容は。

答 県事業でコーディネーターなどを2〜3名配置し、児童生徒の不登校の初期対応にあたる。

総務費

問 副町長の予算を計上していないが、非常事態宣言を受けての処置か。

答 財政的な部分もあるが、危機管理も含めて必要であり、適任者がいれば検討している。

問 まちづくり会社運営費補助金を400万円に減額した考えは。

答 地方創生期間の中で株式会社として自立し、補助金に頼らない会社経営を模索していくべきで、今回は内部経費を極力抑え100万円減額した。

民生費

問 町単独で開催している婚活イベントを休止する理由は。

答 県教育委員会所管の一般財団法人みやぎ青年婚活サポートセンターが、毎年各市町を回って婚活イベントを開催しており、これに令和2年度、村田町での開催に手を挙げているため。

問 町長は児童館の受け入れを、現在の4年生から6年生まで拡充したいとの話だが。

答 将来6年生までの受け入れを考えると、施設の面積

に対して受け入れ人数も決められている状況にあるため、開設場所を考慮して考えていきたい。

労働費

問 シルバー人材センター補助金が前年度500万円に對して、今回は650万円と150万円増額計上した理由は。

答 シルバー人材センターで受注する業務は減少傾向にあるが、運営に関わる業務対応の人員費と業務管理システムを導入するための増である。

商工費

問 みやぎ蔵王ハーモニー花回廊について、村田町としてどういう取り組みをするのか。

答 現在は協議会の中で龍島院の庭園をメインに推進し、その他の地区からも素材を集めて推進していく。



龍島院の庭園

問 武家屋敷の管理委託料が前年より50万円近く減額されている理由は。

答 宿泊事業の施設に係わる経費全体を見直し、減額した。

問 観光案内所運営補助金500万円の事業内容は。

答 まちづくり会社への運営補助で、ヤマ二郎、やましょ、記念館、蔵のまちなみなど、町内一円も含めた観光案内業務でほとんどが人件費である。



観光案内所があるヤマ二郎

農林水産業費

問 農作物有害鳥獣被害防止対策協議会の補助金1千万円の内訳は。

答 有害鳥獣被害防止対策協議会の1千万円の内訳は、900万円は有害鳥獣の電気柵と防護柵で、残りの100万円は減容化施設の運営費である。

問 ほ場整備について、沼田・関場地区の事業採択までの見通しは。

答 沼田・関場地区に関しては、機運が高まっており、県の事業採択予定は最短で4～5年後と思われる。

問 町内には森林組合が何箇所あり、財政状況が厳しい。森林環境贈与税などの補助金を活用できないか。

答 森林環境贈与税については、組合と委託契約を結んで地域の民有林の環境調査などを目的とするため、直接補助はできない。

土木費

問 本関場橋は狭く大型車がスムーズに通れない。本関場地区周辺の道路行政について、実施計画書に予算化されていないが、令和2年度以降の基本的な考え方は。

答 本関場橋とその前後は県道亘理大河原川崎線のために、基本的に県の事業として推進し、町としても不具合の解消を要望している。また、2市6町により村田インターチェンジアクセス県道整備促進期成同盟会を立ち上げ、県に改善の要望書を提出した。



県道亘理大河原川崎線の本関場橋

問 令和2年度以降に予算化されている町道関場線の工事内容は。

答 一期工事分として本関場橋周辺から峯崎前までの工事を進めている。

問 小池石生線の現在の工事進捗状況は。

答 道路の詳細設計はほぼ完了している。令和2年度から用地と補償の契約に入り、予算執行上の見込みが立ち次第、工事が可能であれば着手する。

問 菅生姥ヶ懐線全長4.4キロメートルの全体工事内容。

答 工事区間は菅生スマートインターチェンジの工事箇所から姥ヶ懐の岩沼蔵王線まで

であり、工事内容は舗装構造の強化と、道路の線形をスムーズに変え、落石防止に対する備えなどの改良工事となる。



スポーツランドSUGO第二ゲートから見た菅生姥ヶ懐線

問 谷地公園の遊具が壊れているが、今後はどうするのか。

答 修繕となると補助事業では難しく、今般の財政健全化に向けた取り組みの中で方向性を見出したい。

問 台風被害の対策として、河川の整備は進んでいるか。

答 大河原土事務所では荒川と新川の河川の堆積土砂撤去作業を行っている。さらに荒川と白石川の合流部に着手していただき、町の治水対策の根幹を担う部分を進めていきたいと考えている。



盛田周辺での荒川の堆積土砂撤去作業

消防費

問 消防団員のなり手が少ない状況の中、女性の消防団員の募集が必要では。

答 女性の消防団員は現在8名ほどで活躍している。募集は女性消防団員の方々がチラシを配り声がけしている。

教育費

問 給食の食材について、新型コロナウイルス対策で小中学校が休みになり、町に被害があったか。

答 突然の休校で3月2日の分からは2月28日の段階で食材の納入業者にキャンセルした。保存できる調味料などは活用するが、キャンセルの効かない肉や果物は処分の対象とした。

問 GIGAスクール構想の実現の予算化とWi-Fiにこだわる理由は。

答 昨年度の補正予算の中で工事関係は全て予算化している。無線接続について、校舎内で移動して使うことからWi-Fi環境とした。

GIGAスクール構想とは
新時代を生きる子ども達の未来を見据え、子ども達の個性に合わせた教育の実現を目的として、学校で義務教育を受ける児童生徒向けの一人一台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想である。

国民健康保険事業特別会計

問 療養諸費の一般被保険者療養給付費が5千万円、高額療養費の一般被保険者高額療養費が2千100万円増額になっている理由は何か。

答 加入者は年々減少傾向であるが、医療の高度化や入院等で一人あたりの医療費が年々増加しているためである。

後期高齢者医療特別会計

問 後期高齢者医療保険の特別徴収者、普通徴収者はそれぞれ何人か。

答 特別徴収者が1千803人、普通徴収者が259人で合計2千62人である。

介護保険事業特別会計

問 生活支援コーディネーターの業務委託料が前年対比300万円ほど増額している理由は何か。

答 社会福祉協議会に委託している生活支援コーディネーターの増員分である。

問 要介護で認定されている総人数は何人か。また、そのうち施設利用者は何人か。

答 前年末の要支援・要介護認定者は595人であり、このうち129人が施設を利用している。

宅地造成事業特別会計

問 不動産売却収入が2千万円予算計上しているが令和2年度は何区画分計上しているか。

答 現時点では5区画分を想定している。

予算審査特別委員会による現地調査

予算審査特別委員会最終日の3月16日に現地視察調査を行いました。

今回、有害鳥獣減容化処理施設、姥ヶ懐民話の里の2カ所について調査を行い、施設の状態などを確認しました。



有害鳥獣減容化処理施設



姥ヶ懐民話の里

令和2年度 予算審査特別委員会意見

本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

1. 「村田町財政非常事態宣言」を発令し、財政運営を実施するに当たり、行財政改革はもとより、新たな財源の確保等（公有財産の処分・利活用等）により、強固な財政基盤を構築すること。
2. 学校教育環境等の基本方針については、出生数の大幅な減少に伴い、町民の意見等を総合的に勘案し、早期に方向性を見出すこと。
3. ふるさと納税について、村田町の魅力を発信できる返礼品の開発等により、目標額の達成に努めること。

3月定例会

(令和2年3月6日～18日)

29 案件を議決

こんなことが決定されました。

令和2年第1回 定例会

令和2年第1回定例会は、

3月6日から18日までの13日間にわたり開催されました。

この定例会では、条例の制定2件、条例の改正7件、補正予算4件、令和2年度各種会計予算8件、人事案件1件、その他3件、報告2件、承認1件、議発案1件が提案されました。

また、大沼町長の施政方針を受け一般質問は7名の議員が町の施政や今後の課題と、対応等について質問をしました。

条例

■村田町職員の給与の特例に関する条例の制定について

(提案理由)

令和2年2月14日の村田町財政非常事態宣言を受けて、新たな財源確保策のひとつとして、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの期間、村田町職員の給料月額から一律3

%、管理職手当の月額から一律10%の減額支給を提案する。

※反対討論(太田初美議員)

令和2年度予算編成中の過程で、町の財政が極めて厳しい状況にあり、将来的に財政再生団体に転落するとして、財政非常事態宣言を発令した。今回の宣言は、裏付けとなる根拠や赤字決算になる財政見通しも一切示すことなく、議会で中身を議論するといまもないまま、唐突にかつ、一方的に発令した。

どんな時代においても、一生懸命頑張ってきたのは職員であり、これからカギを握るのも職員である。この厳しい地方自治を取り囲む課題に、真剣に取り組んできた職員の落胆も容易に想像できる。財政健全化が喫緊の課題と

言いながら、行財政改革に取り組むことなく、最初に生計の糧である職員給料削減に手を加えることは、職員を評価していない表れであり、給料削減で責任の押し付けと言う、印象が拭えない。

大型投資の事業計画がない中で、財政調整基金の残高不足の心配で財政非常事態宣言は、聞いたことがない。

議会や町民と議論が進んでいないなかで、町職員の給料の削減は反対する。

※賛成討論(佐藤洋治議員)

大沼町長が就任をされて半年になるが、町長に当選すべく選挙において訴えてきた結果、当選をされた。その中身は、財政が非常に厳しく、この健全化を図っていかなければ村田町の将来が危ぶまれるということを終始一貫申し添えてきた。

就任をした以上は、この町を継続して進めていくという意味から、こういう措置を断腸の思いで取り組んだことであらうと感じている。そして、職員と一丸となって姿勢を同じにして進んでいくことである。うと、大いに期待するものである。

一方、期間については疑問もあるが、当面は提案された中身をもって町長を筆頭にして、

職員の方々にもぜひ頑張ってくださいたいと思ひながら、本案に賛成する。

【意見が分かれた議案の賛否一覧】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
議案	山家大	鈴木宏	鈴木正信	菊地睦夫	大沼吉隆	村上登	佐藤洋治	吉野敏明	太田初美	斎藤万之丞	鈴木保博	遠藤実	議決結果 (賛成：反対)
議案第1号 村田町職員の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	議	可決 (7：4)

※表決の区分 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席

議：議長は採決に加わらない

■村田町老人ホーム入所判定
委員会条例の制定について

【原案可決】

■村田町定住促進住宅条例の
一部を改正する条例

【原案可決】

■地方公務員法及び地方自治
法の一部を改正する法律の施
行に伴う関係条例の整備等に
関する条例

【原案可決】

■村田町監査委員条例の一部
を改正する条例

【原案可決】

■特別職の職員で非常勤のも
の報酬及び費用弁償に関す
る条例の一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町福祉委員設置条例の
一部を改正する条例

【原案可決】

■村田町災害弔慰金の支給等
に関する条例の一部を改正す
る条例

【原案可決】

■村田町介護保険条例の一部
を改正する条例

【原案可決】

補正予算

■令和元年度村田町一般会計
補正予算（第7号）

【原案可決】

■令和元年度村田町国民健康
保険事業特別会計補正予算（
第3号）

【原案可決】

■令和元年度村田町公共下水
道事業特別会計補正予算（第
5号）

【原案可決】

■令和元年度村田町農業集
落排水事業特別会計補正予
算（第3号）

【原案可決】

その他

■権利の放棄について

町営住宅使用料及び駐車場
使用料について、回収が見込め
ないため権利を放棄するもの。
■指定管理者の指定について
指定管理者に管理を行わせる
施設
「姥ヶ懐民話の里 ふるさと
おとぎ苑」

所在地 小泉字朧石2番地
指定管理者に指定する団体
名称 一般財団法人村田町
ふるさとリフレッシュ
センター

代表者 理事長 小川 隆秀
期間 令和2年4月1日
から1年間

■町道の路線認定について
路線名 塩内二号線
起点 村田字塩内46-1
終点 村田字塩内61-1

【原案可決】

人事

■人権擁護委員候補者の推薦
について
氏名 星 昌人さん（荒町）

報告事項

■損害賠償の額を定め和解す
ることについての専決処分の
報告について

台風19号の影響により公用

車が給食センター駐車場で浸
水し、エンジンが不良となった
ため、公用車リース契約を期
間満了前に解約した。

■令和2年度一般財団法人村
田町ふるさとリフレッシュセ
ンター事業計画について

承認（専決処分）

■損害賠償の額を定め和解す
ることについて

台風19号の影響により給食
配送車両が給食センター駐車
場で浸水し、エンジンが不良と
なったため、公用車リース契
約を期間満了前に解約した。

【承認】

議員報酬の5%削減を議決

議決案第1号 議会の議員
報酬及び費用弁償等の支給
に関する条例の一部を改正す
る条例

▼要旨

「財政非常事態宣言」を発
令した当町の財政状況を勘
案すると、議会としても議員
報酬の5パーセント削減を行
い、全体一丸となって、行財
政の健全化に努めなければ
ならないと考え、議員報酬の
月額を減額する特例措置を
行うため、改正するもの。

【原案可決】

令和元年度 各種会計予算 補正額 (単位：千円)

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計 (第7号)	6,263,012	188,530	6,451,542
特別会計			
国民健康保険事業 (第3号)	1,287,928	74,696	1,362,624
公共下水道事業 (第5号)	438,527	△ 29,526	409,001
農業集落排水事業 (第3号)	37,277	△ 316	36,961

令和元年度一般会計予算 繰越明許費内訳 (単位：千円)

款・項	事業の内容	繰越額
4. 衛生費 2. 清掃費	災害廃棄物処理事業	52,318
6. 農林水産業費 1. 農業費	農道・用排水路維持管理事業	19,000
8. 土木費 2. 道路橋りょう費	道路維持事業 道路新設改良事業 市町村道整備事業 河川改修事業 都市計画道路小池石生線事業	2,915 6,291 94,608 20,200 26,840
10. 教育費 1. 教育総務費 6. 保健体育費	学校 ICT 環境整備事業 町民体育館施設維持管理事業	48,000 3,454
11. 災害復旧費 1. 公共土木施設災害復旧費	単独災害復旧事業 補助災害復旧事業	48,750 400,000
2. 公共農林施設災害復旧費	単独災害復旧事業 補助災害復旧事業	27,000 325,686
3. 文教施設災害復旧費	補助災害復旧事業	4,873

令和元年度村田町公共下水道事業特別会計 繰越明許費内訳 (単位：千円)

款・項	事業の内容	繰越額
5. 災害復旧費 1. 災害復旧費	公共下水道施設災害復旧事業	10,900



- **村上 登 議員** (11ページ)
 - 1. 施政方針の中から財政非常事態宣言について
 - 2. 志賀・姥ヶ懐トンネル開通に伴う活性化対策について
- **吉野 敏明 議員** (12ページ)
 - 1. 村田町財政非常事態宣言について
- **鈴木 宏 議員** (13ページ)
 - 1. 財政健全化対策を実行するにあたり、方策はどのように考えているのか
 - 2. みやぎ県南中核病院へのデマンドタクシー乗り入れについて
- **大沼 吉隆 議員** (14ページ)
 - 1. 令和2年度当初予算から見る施策及び財政状況について
 - 2. 学校教育環境のあり方の基本方針について
- **山家 大 議員** (15ページ)
 - 1. 台風、大雨の対策について
 - 2. 子育て支援について
- **佐藤 洋治 議員** (16ページ)
 - 1. 村田町再生から見た学校教育に関して
- **菊地 睦夫 議員** (17ページ)
 - 1. 村田町財政非常事態宣言の発令について
 - 2. 財源を確保するためのふるさと納税の進め方について



村上 登 議員

1. 施政方針の中から財政非常事態宣言について 2. 志賀・姥ヶ懐トンネル開通に伴う活性化対策について

財政非常事態宣言について

余りにも突
然のことで大
変驚きました。
これまで先輩
の皆様方が築
いてこられた
本町の品格・
信頼が音を立
てて崩れてし
まいました。
ここに至る
6カ月の間、
議会との話合
いはあったの
か。

質問1

本町財政のどこが、ど
のように悪いのか。どの
ように建て直しするのか
伺います。

町長答弁

様々な理由があるが、
収支不足額を基金で賄う
状況が続いている。財政
調整基金が枯渇し、町の
主体的な行財政執行が立
ちかなくなる可能性が
出てくるとの考えから、
財政非常事態宣言を発令
した。

質問2

財政非常事態宣言を出
すにあたり議会との議論、
討論の場がありませんで
したが、何故なかったの
か伺います。

町長答弁

現在の財政状況の認識に

志賀・姥ヶ懐トンネル開通に 伴う活性化対策について

岩沼蔵王線のトンネル開
通により交通量も次第に増
えてきている。

きたいと考えている。

質問2

民話の里周辺の整備と
観光資源の開発について
どう取り組んでいくのか。

町長答弁

近年、施設の利用状況は
減少傾向にあることから、
指定管理者と協議し運営手
法の見直しを行い、集客・
利用状況の改善を目指した
と考えている。

質問1

伝統的建造物群保存地区
を核とした、にぎわいのある
地域づくりをどのように進
めていくのか伺います。

町長答弁

「蔵の町村田」の核とら
えて内外に発信し、各イベ
ントなどとも合わせて賑わ
いの創出に取り組んできた
が、令和2年度は伝統的建
造物の保存のための助成金
は中止としたい。

地域産業推進課長

しかしながら周辺地区も
含めた観光資源の活用や商
店街等ともタイアップして、
地域活性化に取り組んでい
きたい。

現在は経験のある民間
に指定管理を委託してい
るが、施設経費の積算は
していない。

村田町財政非常事態宣言について



吉野 敏明 議員

質問1

財政非常事態宣言を出すにあたり、役場内のコンセンサスを得て宣言を出したのか。

町長答弁

宣言発令を前後して、臨時庁議を開催した。役場内のコンセンサスを得ているもの、あるいは危機感を共有していると考える。

質問2

財政非常事態宣言を出してから約1カ月経過したが、町内外の反響も大きいと感じているが町長はどう分析しているのか。

町長答弁

極めて冷静に受け止めておられる町民の方が多い。町民の皆様にとって町の将来に対し、不安な部分を多く含んでいるものと捉えているので、健全化へ向けた計画作成過程における経過報告等により、丁寧に説明したい。

質問3

財政非常事態宣言のメリット・デメリットの検証をしていると思うが、どのように捉えているのか。

町長答弁

町民の皆様と財政状況について、問題認識を共有することが必要不可欠であると捉えている。デメリットの方が多いのではないかと声があることも承知をしているが、このことについては、今後の健全化計画策定を含め、丁寧な説明や情報発信をしながら、不安の解消に努める。

追質問1

町は「財政再建団体に転落する危険性があると言っているが本当に危険性があると認識しているか。

町長答弁

財調が枯渇している状況が続けば可能性がある。今

のうちに体質を変えなければ財政再建団体になる可能性がある。

追質問2

財政調整基金が枯渇したら財政再建団体に陥るのか。

企画財政課長答弁

財政調整基金だけを持つて判断はできない。

追質問3

財政の悪化状況をはかる4つの財政健全化比率は確かに宮城県内では一番悪い状況であり、「早期健全化基準」「財政再生基準」を大きく下回っているが、何を根拠に財政再建団体になると言っているのか。

企画財政課長答弁

4つの指標は今の公債費からみて急激的に上がる想定はしていない。

町長答弁

今の財政構造が続けば危険性がある。

追質問4

財政状況について町民と問題意識を共有することが重要と判断したのであれば町民に説明すれば済むのであって対外的に財政非常事態宣言をする必要はなかったのでは。

町長答弁

将来の財政も含めて財政構造を変えるには町民の協力も必要。転換を図る意味で宣言したもの。

追質問5

企業誘致を進める自治体として町のイメージを大きく損ない企業進出に躊躇する企業が出るのではと不安を感じるが、企業誘致に影響は無いと考えているのか。

町長答弁

影響があるか無いかは当事者でないのだから分からないが、財政をしつかり立て直していくと説明する。



鈴木 宏 議員

1. 財政健全化対策を実行するにあたり、 方策はどのように考えているのか 2. みやぎ県南中核病院への デマンドタクシー乗り入れについて

財政健全化対策の 実行方策は

質問1

廃校の今後の活用対策をどのように考えているのか。また、現在交渉中の案件があれば内容等について伺う。

町長答弁

現在は、民間事業者等による利活用が促進されるよう、文部科学省による廃校施設の情報と民間事業者等による活用ニーズをマッチングさせるための「みんなの廃校プロジェクト」に登録を行い、全国の民間事業者へ向けた情報発信を実施しており、既にいくつかの問い合わせと現地視察の希望をいただいている。

廃校跡地の活用対策は、現在の財政状況に鑑み、速やかに財産処分等を含め進めていく。

質問2

令和元年度及び2年度で支出している各種事業、団

体等への運営費補助、指定管理委託料の金額や方針等について変更したものがあれば、どのように変更したのか伺う。

町長答弁

令和2年度予算における団体等の運営費補助金及び指定管理委託料ですが、村田町ふるさとリフレッシュセンター補助金で前年度比較50万円減の150万円。まちづくり会社運営費補助金で前年度比較100万円減の400万円。村田町シルバー人材センター補助金で前年度比較150万円増の650万円。

指定管理委託料では、武家屋敷管理委託料として、前年度比較43万8千円減の198万6千円。

令和2年度予算編成過程において、特に各種団体への運営費補助金については、洗い出しを行いました。まずは内部的な経費節減が

第一であるとの考えから、原則的には維持を基本とした予算計上とした。

今後は、これら補助金につきましても十分精査のうえ、方針を決めていきたいと考えている。

みやぎ県南中核病院 への乗り入れは

質問

デマンドタクシーを利用し、みやぎ県南中核病院に乗り入れを実現するための要請を、強力に申し入れをしてほしい。乗り入れが難しいのであれば、もう一つの方法として、みやぎ県南中核病院から1市3町（大河原町、柴田町、村田町、角田市）で所有のバスを走らせることで地域医療の目的がさらに充実できると思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

平成27年6月に開催された大河原町地域公共交通協議会では、構成市町である1市3町で協議すべきという意見が出されたが全会一致とならず、乗り入れの承認が調わなかった。

その後、各市町の地域公共交通担当による情報交換会を開催し協議しているが、現状では要望や意見がまだ調わ^{とろ}ない状況である。また、病院構成市町でバスを運行する提案については、公共交通会議以前にそれぞれに地域の開業医との調整が必要であり、地域医療の根幹に関わるものと認識しており、医師会との協議を要するため周遊バスの運行はさらに難しいと推察する。乗り入れ要望については、各隣接自治体の地域公共交通協議会での合意が必要となることから、今後も関係機関と協議を重ねていく。

令和2年度 当初予算から見る 施策及び財政状況を問う



大沼吉隆 議員

「村田町財政非常事態宣言」発令（令和2年2月14日）

質問

令和元年度末時点での、一般会計分の基金残高と、特別会計分の基金残高推計値をどう捉え、どう認識しているのか。

町長答弁

現時点での直近の数値で回答すると、一般会計の基金残高は約2億7千万円となっている。このうち財政調整基金については、約1億5千万円である。また、基金（現金）残高は厳しい内容になっていることを再認識する。基金（現金）が少ないということは、予算編成過程及び実際の資金繰りの関係から大変厳しいものがあると考ええる。

追質問

この非常事態宣言発令と、タイミングについては、いろんな受け止め方もあったと思われる。私としては、この宣言の決

断と発令のタイミングについては、合理的であり、

町民の皆様にもご理解とご協力をいただけるものと思いますが、町長の見解は。

町長答弁

宣言については、令和2年度の予算編成過程で大変厳しいことでの決断であり、このタイミングしかなかったと思った。基本は共通認識のもと、健全化へのスタートになればと考える。

質問

財政健全化計画の期間設定については、町民皆様の思いと、納税者の不安と不満をなるべく早く解消できる期間設定とすべきだと思う。また、計画策定の手続きとして、町民皆様の声を聞きながら、進める方策もあると思うが町長の見解は。

町長答弁

議員質問のとおり、私も期間設定の考え方については、同様に考えている。また、町民の皆様の声はもちろんのこと、議員や知見を有する方も含め、広くご意見をいただけるような、制度設計に努めて参りたいと考えます。

学校教育環境について

質問

平成30年6月に策定された、「学校教育環境等のあり方の基本方針」について、現在も引継がれているのか問う。

町長答弁

「学校教育環境等の基本方針」を踏まえながらも、出生者数が大幅に減少することにもない、根本的に見直す必要があると思っている。

質問

平成28年に教育委員会より提出された「学校教育環境のあり方」の提言書のなかで、小中一環教育を行う新たな制度「義務教育学校」の選択視も視野にいたれた検討を進めていく必要があると提言されているが、現時点での町長の見解は。

町長答弁

年間出生者数が40人台という現状を踏まえ、「子どもたちの成長にとって何が大切か」と、教育の質を維持し向上するためにはどうしたらよいか」を基本的な視点に検討し、適正規模の学校を考えると、義務教育学校についても選択肢の一つとして考えている。



山 家 大 議 員

1. 台風、大雨の対策について 2. 子育て支援について



荒川と白石川の合流地点

台風、大雨の 対策について

質問1

荒川改修要望書の内容と効果の予測を伺う。

町長答弁

白石川合流部から新川合流部までの河川改修早期実施を要望する内容であり、大河原土木事務所長からは、堆積土砂の撤去工事を発注済み、新川と荒川の合流部から下流側の河道掘削等を本年度に実施、などの回答を受けている。

追質問

白石川と荒川の合流地

点の対策はあるか。

建設課長答弁

阿武隈川との合流地点の検証が必要で時間はかかるが、最終的には河道掘削等を実施する。

質問2

沼辺排水機場の被害状況、修理進捗状況を伺う。

町長答弁

建屋内の浸水で電気系統が不能となり稼働できない状況だったが、現在は稼働できる状態。



沼辺排水機場

質問3

本町の消防ポンプ車を一斉配備し排水作業は可能か。またこの合計の排水能力は国土交通省所管のポンプ車（毎分30立方メートル）何台分か。



消防団の消防ポンプ車

町長答弁

消防ポンプ車は消火活動用のため排水活動には不向きで代用は難しい。合計排水能力は22台あわせておよそ国土交通省所管のポンプ車1台分。

追質問

水力タービン式排水ポンプを接続すると排水量が向上するが導入可能か。

総務課長答弁

検討はしていない。ホースが短い、泥水吸引でエンジントラブル発生、などの理由により難しい。

子育て支援について

質問

ファミリーサポートセンター（子育て援助活動支援）

援事業）についての考えを伺う。

町長答弁

ニーズ調査では利用意向、援助側の意向ともに低い。ため、将来ニーズが高まれば検討したい。

追質問

本事業を知らないために利用しないという回答があった可能性もあるが、認知はされていたか。また、潜在ニーズを掘り起こすことも必要と思うが考えを伺う。

子育て支援課長答弁

調査の中で簡単な説明はしているが、より周知に努めたい。潜在ニーズについても支援センターや保育所等と情報共有をしながら対応したい。



子育て相互援助活動（イメージ）

村田町再生から見た 学校教育に関して



佐藤 洋治 議員

予算・決算審査特別委員

会の席上で繰り返し質問してきた「区域外就学負担金」が、新年度も予算計上された。従来踏襲のままで改訂（とうしゅう）には繋がらず、ひとつひとつしっかりと町民の福祉向上のため、一丸となつて取り組んでいくべきと思います。

質問1

区域外就学とその負担金に関して、今日まで繰り返し質問をしてきたが、現状のままで良いと思つてゐるものか。

町長答弁

県教育委員会の助言では、違法性があり、好ましくないものの、覚書が交わされている以上、道義的責任はあるものとの見解により、私もそのように認識しており、覚書の解消は必要であるとも考えております。

質問2

「区域外就学の児童生徒にかかる経費の負担については、村田町の負担とし、毎年度により算出し、大河原町の請求により支払うものとする。」

平成21年2月21日付けの覚書において、当時両町長が取り交わしたものである。全部若しくは一部を変更または廃止しようとする場合は、両町で協議することも記載されてあります。今現在、教育長は協議したことがあるか。

教育長答弁

昨年12月に教育長間で、1月には教育長と担当課長との話し合いの場を設け、両町の教育委員会として共通認識をもったところではあります。覚書の解消に向けて鋭意協議を続けていきたい。

質問3

当時両教育長が交わした平成21年2月21日付けの区域外就学に関する確（かく）認書において、予算は毎年9月議会で補正し、負担の策定は地方交付税等確定後とありますが、今回当初予算に算出計上した考（かん）えについて伺う。

教育長答弁

覚書がある以上、予算計上しなければならぬので、区域外の見込児童生徒数に令和元年度の大（おお）河原町の普通交付税算定の基準額を掛けて算出した。

質問4

北向地区児童生徒（川崎町へ）は無償で、沼辺南地区児童生徒の一部（大河原町へ）は有償である。このような取り扱いのままであるは全体として公平公正とは言いがたいと思うが、町

長は最高責任者として、どのような見解を持つているのか伺う。

町長答弁

公平公正とはいいがたいと思うので、覚書の解消に向けて鋭意協議していきたい。

追質問

新たな就学児童（沼辺南地区）を地元第二小学校に入学させることにより、区域外就学負担金の解消になるのではないか。

教育総務長答弁

居住する町村に就学するのが原則であるため、引き続き説明をしていきたい。まずは、覚書の解消に向けて努力していきたい。



菊地 睦 夫 議員

1. 村田町財政非常事態宣言の 発令について

2. 財源を確保するための ふるさと納税の進め方について

村田町財政非常事態宣言の 発令について

質問 1

町長に就任し、大いなる希望を持って、町政の発展を願い、舵取りをしている今、村田町財政非常事態宣言の発令をした町長の考えを伺う。

町長答弁

本町の財政状況は、ここ数年間、収支不足額を基金で賄う状況が続き、財政調整基金等の残高が県内で最も低い状況であり、このような現在の財政状況に鑑み、宣言の発令をしました。

質問 2

財源確保のために、職員の人件費の一部をカットする施策は、時期早々だと思うが、町長の考えを伺う。

町長答弁

今般の職員人件費の一部カットは、大変苦悩したところですが、令和2年当初予算編成過程において、今後の財政基盤を立て直し、未来の町の展望を図る観点から、断腸の思いで決断しました。

質問 3

今後の町民への行政サービスは、どのようなものかを伺う。

町長答弁

「重要伝統的建造物群保存地区助成金事業」、「みやぎ蔵王三源郷交通アクセス向上検証事業」については継続を見送り、令和3年度以降の事業は、基本的な住民サービスの維持を心に留めて進めてまいります。

財源を確保するための ふるさと納税の進め方について

質問 1

本町の貴重な財源の確保のための、ふるさと納税の現状と、今後の具体的な進め方について伺う。

町長答弁

現状は平成27年度の約1千万円をピークに寄付額が頭打ちとなっており、今後、町税収入等の自主財源の確保が、ますます厳しくなる現状に鑑み、積極的に寄付金を増やしていただくため、ふるさと納税サイトを増加させる手立てを講じていくことについて、指示しています。

追質問

ふるさと納税の拡大の進め方について、名誉町民の方々に連絡をとり、人とのつながりを通じて知恵を活かしてもらうとか、財政非常事態宣言を発令したこ

とから全職員が親類や、知人にお願いをする等、ワンチームで、町を盛り上げていくことはできないのか。

企画財政課長答弁

強制はできないが、なるべく協力をもらうよう努力をします。職員一丸となり頑張ってまいります。



ふるさと納税

常任委員会 リポート

地域公共交通対策について(1月23日実施)

総務常任委員会

村田町の人口は年々減少傾向にある一方で、高齢者の人数は増加しており、そのピークは2025年と想定されている。

高齢化が進行するなかで交通弱者のための公共交通の充実を図るため、新たな地域公共交通システムの導入を検討。高齢者支援としての「交通弱者の足」を確保するため、第4次村田町長期総合計画でデマンド型乗り合いタクシーについて検討すると位置付けた。

平成25年に設置された「村田町地域公共交通会議」で、デマンド型乗り合いタクシーの運行について検討し承認された。平成26年10月1日から村田町デマンド型

乗り合いタクシー「くらりん号」が町内全域を運行している。

●委員会所見

デマンド型乗り合いタクシー「くらりん号」の平成31年3月

末時点での登録者数は781人。延べ利用者は4千458人。実利用者は198人。日平均利用者は18・3人の状況となっている。

利用傾向として、病院への通院が大部分を占めている。また、運転免許自主返納者に対する支援事業も始まり登録者が増えている状況である。

課題として、平成28年をピークに利用者が減少傾向にあり、その対応策を講じるよう求めるとともに町民要望の多い、「みやぎ県南中核病院」への乗り入れが実現できるよう協議することを願う。

村田町デマンド型乗合タクシー

くらりん号

デマンド型乗合タクシーとは

目的地に運行する通常のタクシーとは異なり、他の人と乗り合いながらそれぞれの目的地まで送迎します。

運行区域

村田町全域です

※町外への利用はできません

利用できる方

村田町にお住まいの方（住民登録名簿のある方）で利用希望をされた方
※役場へ利用申請書を提出し、登録者カードの交付を受けてください。

運行料金

大人（高校生以上）	300円
小学生・中学生	150円
障害手帳をお持ちの方	150円（乗車時に障害手帳を提示）
市民学生	無料（登録は必要です）

料金の支払方法

乗車時に現金または回数券でお支払ください。
回数券は、デマンド型乗合タクシー車内で購入できます。

回数券例

3,000円（300円券11枚）
1,500円（150円券11枚）

※2種類があります！



くらりん号パンフレット

町道の整備及び公営住宅について(1月15日実施)

産業建設常任委員会

■町道の整備及び公営住宅について

1. 町道の整備について

主要地方道路亘理大河原川崎線は本町の中央を南北に縦断し、そこに隣接市町と接続する幹線道路網や生活道路網が形成されているが、特に町道の整備状況は、改良率62・5%、舗装率53・1%まで整備がされている。請願道路については、完了16路線、部分完了8路線、事業実施中4路線、一部着手3路線、未着手8路線で合計39路線となっている。

●委員会所見

日常生活に密着した路線であり、緊急性、地域性等を勘案し計画的に改良整備を進めていただきたい。



町道日照田天沼線

2. 公営住宅について

町営住宅は公営住宅法に基づき、村田町が建設し賃貸する住宅です。

町営住宅は石生住宅、川畑住宅、新石生住宅、北の内住宅、金谷住宅の5カ所。全管理総戸数156戸（内政策空家8戸）。令和元年12月末現在115戸（入居率77・7パーセント）が入居している。

●委員会所見

今回、石生住宅を調査した。植木などの手入れ、除草作業など周辺環境づくりに努められ全体として良好と思われるが、自転車置き場にバンクした自転車が数台確認されたのでその対策を求める。



石生住宅

文化財保護行政について(村田町村田重要伝統的建造物群保存地区) (1月24日実施)

教育民生常任委員会

■文化財保護行政について
(村田町村田重要伝統的建造物群保存地区)

○助成制度

保存地区内での建築行為等を行う場合は町の許可が必要となる。その際、一定の基準があり、基準に該当する保存修理・修景を行う所有者に対し補助金を交付している。

○保存に向けた取り組み

既存の施設を拠点として活用し、情報提供・来訪者との交流・調査研究・学習・歴史的風致の維持形成等を図っている。また、案内板の設置、保存団体への援助、保存地区の防災計画策定、環境整備などの取り組みを行っている。



○委員会所見

町にも単費負担がある補助事業である以上、蔵の街並みを活かし観光客からの収入拡大などの生産性の上がる取り組みをすべきで、利活用が遅れている。「やましよう記念館」などの店舗を活用し、集客できる施設を町が主体となつてつくるべきである。理想形を明確にし、利活用も並行して進めていただきたい。

一方で、制度が始まって4年間で総事業費約1億3千万円、その40パーセントのおよそ5千万円を町が負担している。文化財の維持管理も大事なことが、今は他に優先しなくてはならない事業もあるのではないかな。

こども議会 開催

2月6日に村田小学校6年生が議会を体験しました。

子ども議会は、将来の村田町を担う子どもたちに、議会の重要性や仕組みを学び、町政に対する理解と関心を深めてもらうことを目的としています。

「町の仕事や取り組みについて」の質問は大沼町長が答弁し、「議会について」の質問は遠藤議長が答弁しました。子どもたちの中から「議長役」と「議員役」に分かれ「模擬議会」を体験しました。また、クラス毎に町に対する提案を発表していただきました。



町に対する提案を発表

村田高校3年生との 議会懇談会開催

2月17日、村田高等学校にて、議会活動に対する認知度の向上と、若者がまちづくりを考えるきっかけとするため、村田高校3年生と、ワールドカフェ方式で懇談会を開催しました。

議員や生徒等49人が参加し、7テーブルに分かれて、「みんなで考える20年後の村田町の未来」をテーマに話し合いを行いました。参加した生徒からは、「これから若者が働きやすく、住みやすい町をつくってほしい。」といった要望や「町のことを考えることができた。これから町のことを考えながら頑張りたい。」などの感想がありました。



村田高校生とのワールドカフェ

仙南地方 町村議会議長会 自治功労者表彰

町村議会議員として、長年地方自治の振興発展に寄与した功績により、本議会より佐藤洋治議員が表彰を受けました。



ワールドカフェとは

メンバーの組み合わせを変えながら、リラックスした雰囲気で行う会議

わたしの思い

未来へ残すべきもの

やんべ ひろゆき
山家 浩幸 さん(荒 町)

カフェ蔵人を開店して、10年の時が流れました。お客様は、町外の方が6〜7割を占めます。

話題は、村田のことがメイン。蔵の町並み・季節毎のイベント（雛めぐり・蛇藤まつり・布袋まつり・陶器市・道の駅のイベント）や野菜などの話。近隣市町の方々は、

「村田はイベントで人の集め方が上手。」とお誉めいただくことが多くあります。そのもととなつてゐるのは、村田商人が受け継いできた近江商人の「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方良しの考え方なのではないかと思つてゐます。村田には、町の宝とも言うべき文化財が多数あり、それを活用した商売もあり、受け継ぐ人々もいる。それらを残し、次の世代へとバトンタッチし、村田町を永続させていきたいと思ひます。



議会事務局職員の異動がありました

4月1日付けで職員の異動がありました。
今後ともよろしくお願いいたします。



【前】局 長 田山 芳明
〔令和2年3月31日定年退職〕



【新】局 長 高橋 利光
〔前 議会事務局副参事兼総括主査〕



【新】副参事兼総括主査 一條 卓也
〔前 地域産業推進課総括主査〕

次の定例会は 6月16日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継で配信します。

村田町ホームページアドレス(下記)より
<http://www.town.murata.miyagi.jp/>
コンテンツ「村田町議会」から「議会中継」へ
アクセスしてください。

本会議の日程については、
町ホームページの「本会議開催予定表」で
お知らせしています。

村田町議会公式Facebook はじめました

詳しくは議会事務局まで TEL83-6410

編集後記

新緑の季節となりました。
議会だよりの作成にご協力いただいた編集委員全員（スタッフ含む）に心から感謝しています。
今号は、町民の皆様に関心を持つてほしい令和2年度の予算内容が詳しく載っています。
財政非常事態宣言発令後、町が財政健全化に向けて、どう取り組むのかがわかる「議会だより」に出来上がりました。
今年一年間、どうぞよろしくお願い致します。

議会広報編集特別委員会

委員 鈴木 宏

発行・編集責任者

議 長 遠藤 実

議会広報編集特別委員会

委員 長 菊地 睦夫
副委員 長 大沼 吉隆
委員 員 山家 大宏
委員 員 鈴木 正信
委員 員 鈴木 登明
委員 員 村上 敏明
委員 員 吉野 美博
委員 員 太田 保博
委員 員 鈴木